

家庭科(家庭総合)学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 履修単位数 2単位
- 2 実施日時 令和5年10月 日() 4限目
- 3 学級 HR(名)
- 4 使用教科書 家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍)
- 5 単元名 経済生活を営む
- 6 単元設定の理由

近年、グローバル化や情報化、それに伴う販売や流通の多様化などにより社会環境が大きく変化している。このような社会の中で、消費者に求められるのは、生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理、消費生活の現状と課題について理解し、適切に対応していく主体性である。また、民法の改正により成年年齢が18歳に引き下げられたことから、今後、高校生のうちから消費者の権利と責任を自覚し、自立した消費者として行動することが求められている。

本学級の生徒が在籍している生活文化科は、将来、ファッション関係で活躍できる生徒を育成する専門学科である。アパレルに興味があることから、インターネット等による通信販売を利用した被服購入の経験がある生徒が多い。アンケートを実施したところ、実際に消費者トラブルを経験したことのある生徒が過半数いることが分かった。

しかし、トラブルを経験している生徒が多いものの、それに関する情報を積極的に手に入れようとしていない生徒が約70%おり、生活情報の活用に結び付いていないのが現状である。

そこで、消費生活について主体的に考え、判断する力や意思決定能力を育てるために、実践的・体験的な活動を通して、適切な判断や行動ができるようにしたいと考え、本単元を設定した。

7 単元の目標

- (1) 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解するとともに、消費者問題や消費者の自立と支援、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解を深める。
- (2) 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、課題を解決する力を養う。
- (3) 消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする態度を養う。

8 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解深めているとともに、生活情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解を深めている。	自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費者について課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。	消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

9 指導と評価の計画(12時間)

第1次 情報の収集・比較と意思決定……	2時間(本時1/2)
第2次 購入・支払いのルールと方法……	3時間
第3次 消費者の権利と責任……	2時間
第4次 生涯の経済生活を見通す……	1時間
第5次 会計をマネジメントする……	3時間
第6次 これからの経済生活……	1時間

	ねらい・学習活動	評価の観点			評価規準・評価方法
		知	思	態	
第 一 次	現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。		●	●	・消費生活における意思決定の重要性と、情報の活用について考えている。(ワークシート・発表内容) ・自立した責任ある消費者をめざして、意欲的に学習に取り組んでいる。(行動観察)
第 二 次	・日常生活におけるさまざまな契約について理解する。 ・販売方法や支払い方法の多様化や契約の重要性について理解する。	●		●	・多様な販売方法や支払い方法、契約の重要性について理解している。(ワークシート) ・責任ある消費行動が取れるよう、意欲的に学習に取り組んでいる。(ワークシート・行動観察)
第 三 次	・消費者には権利と責任があることを理解する。 ・消費者保護制度について理解する。 ・消費者の権利と責任の変遷を踏まえて、消費者市民社会の実現に向けて実践しようとする。	●	●		・消費者の権利と責任、消費者保護制度について理解している。(ワークシート) ・消費者市民社会の実現に向けて、自分の生活を見直し考えて行動しようとしている。(ワークシート・行動観察)
第 四 次	経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。	●		●	・経済的自立の重要性について理解している。(ワークシート) ・生涯安定した経済生活を営めるように、意欲的に学習に取り組んでいる。(ワークシート・行動観察)
第 五 次	家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解する。	●		●	・家計の構造や金融資産のマネジメントについて理解している。(ワークシート) ・生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるため、意欲的に学習に取り組んでいる。(ワークシート・行動観察)
第 六 次	・家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。 ・持続可能な経済成長の実現に向けて実践しようとする。	●	●		・家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解している。(ワークシート) ・持続可能な経済成長の実現に向けて、考えて行動しようとしている。(ワークシート・行動観察)

10 本時の指導目標

- ・消費行動における主体的な意思決定の重要性と、消費者トラブル対処方法について考える。(思考・判断・表現)

11 本時の展開

時間(分)	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 (5分)	・本時の学習内容と目標を知る。	・本時の学習内容と目標を説明する。		
	消費行動における主体的な意思決定の重要性と、消費者トラブル対処方法について考えよう。			
	・消費者問題の現状について知る。 ・マルチ商法のロールプレイをする。	・マルチ商法について教科書・事前学習プリントで確認させる。 ・「被害者」「加害者」、両方の視点に立たせる。		
展開 (40分)	・ロールプレイで感じた問題点や対処方法について話し合い発表する。	・班の意見をまとめさせ、MetaMoji Classroomに記入させ、発表させる。	・主体的な意思決定の重要性と、消費者トラブル対処方法について考えている。(思考・判断・表現)	・ワークシート ・行動観察 ・発表内容
	・主体的な意思決定をするために必要なことを知る。 ・消費者トラブルの対処方法について、消費生活センター相談員から相談の仕方などを聞く。	・マルチ商法の事例に当てはめて考えさせる。 ・生徒に疑問点などを質問させる。 ・要点をまとめさせる。 ・とくしま消費者トラブルLINE相談のチラシを配る。		
まとめ (5分)	・本時のまとめをする。	・本時の目標が達成できているか確認させる。		